

Saori Ikeuchi TIMES / no.030 / 2021.7.18 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
日本共産党
衆院東京12区
池内さおり事務所
〒115-0042
東京都北区志茂
2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

市民と野党の共闘で勝利！来る総選挙で政権交代を！

7月4日投開票の東京都議会議員選挙で、北区・そねはじめ候補、足立区・斉藤まりこ候補、豊島区・米倉春奈候補、板橋区・とくとめ道信候補をはじめ、日本共産党の候補者19名が大激戦を勝ち抜き当選を果たしました。

今回の選挙でそねはじめ候補は、市民と野党の共同の候補者として、立憲民主党、新社会党、みんなで選挙@東京12区のみなさんからご支援・推薦を頂きながら選挙をたたかいました。

この共同をさらに発展させ、秋までにある総選挙では、自公政権を退陣に追い込み、池内さおり予定候補の勝利と野党連合政権を切りひらく決意です。



当選の報を受けて万歳三唱する、そねはじめ候補（中央）と立憲民主党・うすい愛子北区議（左から3人目）、新社会党・福田光一北区議（右から3人目）、池内さおり前衆院議員（右）、支援者のみなさん

色あざやかな社会へ

Column vol.30

次なる闘いへ、いざ！

「五輪中止！コロナ対策に全力を！」
―。訴え抜いた東京都議会議員選挙。
日本共産党は議席をのぼし、市民と野党
共闘はさらに存在感を増し、各地で大き
く力をつけた。

都議選直後の6日、北区は学校連携観
戦の中止を決断。足立や板橋を始め、都
内全域でも続々と態度を明確にする自治
体が続き、私たちの訴えが早くも政治の
シーンを変えている。

新しくなった党都議団は19人。立憲野
党の議席と力合わせれば、臨時議会の招
集を請求できる一大勢力となった！さら
に19人のうち14人が女性となり期待は高
まる。まだまだ多くの女性たちは、日常
生活の中で暴力や差別に遭いながらもそ
れを問題だとさえ自覚できない中にある。
私は、こうした女性たちが、自分には尊
厳があり、声をあげてもいいのだと、自
分に自信を持ち立ち上がることで、自
ような社会に日本を変えていきたい。

次は解散総選挙！新政権を実現しよう。
一人一人の命のきらめき！奪われてなる
ものか。命最優先の政治実現へ全力を尽
くします。



池内さおり

Saori Ikeuchi
前衆議院議員

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり
トークタイム

TOKYO
12
HAUS

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、
当面の実施を見合わせます。



今こそ命まもる政治へ— 訴えぬいた都議選

池内さんは都議選にあたり、各候補の押し上げへ、各地で必死の訴えを行いました。「オリンピック中止の決断を」、「公共住宅、病院を守れ」、「市民と野党の共同

の力で勝利を」と訴えると、どこでも多くの人が耳を傾け、声援などの激励が寄せられました。

また、インターネット上でも候補者の値打ちを多くの人に伝えようと、そね候補や市民をゲストに北区の課題や運動の前進を深堀する番組

「情熱北区」を配信。これまでなかなか見えづらかった都議の努力や区議会・国会との連携を、わかりやすく発信しました。



6月30日、大塚駅北口でのまちかどトークで訴える（左から）米倉候補、池内さん



7月3日、赤羽駅西口（左から）さがらとしこ区議、立憲・佐藤ありつね区議、そね候補、志位和夫委員長、立憲・うすい区議、池内さん、新社会・福田区議

ジェンダー平等の東京へ 多彩な弁士と訴え

池内さんは6月26日、都議選でジェンダー平等の東京を実現しよう！と、大山とも子都議候補、山添拓参院議員、応援弁士らとともに、新宿駅西口で訴えました。

特別ゲストとして、ライターの小川たまかさん、新宿区議のよだかれんさん、弁護士の岸松江さんがスピーチ。選択的夫婦別姓や同性パートナーシップ制度の実現、女性の声を政治に！等、政治を変える願いと決意が生き生きと語られ、街頭の注目を集めました。



訴える（左から）池内さん、京司会の坂井和歌子衆院比例東予定候補、応援弁士各氏

ぜひお聴きください！ 池内さおりラジオ、好評配信中

朝岡晶子さんとおくる「池内さおりラジオ コミュニストはフェミニスト」。

6月5日配信のテーマは「都議会リアルレポート☆都議選GO！」。ゲストの斉藤まりこ都議（足立区選出）、藤田りょうこ都議（大田区選出）が、オリンピック中止やコロナ対策をめぐる、共産党都議としてのこの間の奮闘を語りました。二人は大激戦を勝ち抜く決意を表明。配信後には「子どもたちの五輪動員は酷すぎる」、「都議選応援してます」などのお便りが寄せられました。

19日は「角田由紀子さんはなぜ、フェミニスト弁護士になったのか？」。日本初のセクシュアルハラスメント裁判をはじめ、性暴力にかかわる数々の裁判の代理人としてたたかってきた角田さんの、活動を支えてきた信念や原点が豊かに語られました。また角田さんは日本共産党に対し「最も信頼する政党。ジェンダー平等を実現するうえで、ゆるぎない共産党の存在は非常に大きい」と、熱い激励を寄せました。

過去の配信は、いつでも再生できます。7月10日（ゲスト：作家・北原みのりさん）、次回7月24日の配信とあわせてぜひお聴きください。



収録中の（左から）池内さん、角田さん、朝岡さん



池内さおり HP
ラジオ特設ページ

◀こちらをスマホで読み込み、動画又は音声でご視聴ください。

憲法実現の社会めざし 語り合う まんなか世代カフェ

池内さんは6月13日、北区のまんなか世代カフェに参加。太田伊早子弁護士が「公正な社会を求めて—日本国憲法から考える—」と題して講演し、それを受けて参加者と語り合いました。

会には初めての方を含め18人が参加。コロナ禍での貧富の格差の拡大、保育、教育、ジェンダーなど話題は多岐にわたり、政治を変えて矛盾と生きづらさを変えようと決意を固める場となりました。

冒頭にそね都議候補も参加し、参加者と懇談しました。